

表（１） 支援学校「幼稚部・小学部共通」・「小学部」・「中学部」・「高等部」

校種等	模 擬 授 業 の 内 容
支援学校 幼稚部・小学部共通、 小学部	≪ 特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 P84 〔生活〕 2 各段階の目標及び内容 ≫ ○ 2段階 (2) 内容 エ 遊び (7) 身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとして たりすること。
支援学校 中学部	≪ 特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 P185 〔職業・家庭〕 2 各段階の目標及び内容 ≫ ○ 2段階 (2) 内容 家庭分野 B 衣食住の生活 ア 食事の役割 (7) 健康な生活と食事の役割や日常の食事の大切さを理解すること。
支援学校 高等部	≪ 特別支援学校 高等部学習指導要領 P243 〔家庭〕 2 各段階の目標及び内容 ≫ ○ 2段階 (2) 内容 C 消費生活・環境 ア 消費生活 (7) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㉞ 購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解するこ と。

表（２） 上記（１）以外の受験者

【小学校・小中いきいき連携】

校種等・教科（科目）	模 擬 授 業 の 内 容
小学校 小中いきいき連携	≪ 小学校学習指導要領 P32 国語 〔第3学年及び第4学年〕 2内容 ≫ (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。
※ 国語・社会・算 数・理科・英語 から 一つ選択して模擬授 業を行うこと。	≪ 小学校学習指導要領 P59 社会 〔第6学年〕 2内容 ≫ (3) グローバル化する世界と日本の役割について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項 を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 我が国と経済や文化などの面でのつながりが深い国の人々の生活は、多様であることを理解する とともに、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが 大切であることを理解すること。
	≪ 小学校学習指導要領 P72 算数 〔第3学年〕 2内容 ≫ A 数と計算 (4) 除法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 除法の意味について理解し、それが用いられる場合について知ること。また、余りにつ いて知ること。
	≪ 小学校学習指導要領 P107 理科 〔第6学年〕 2内容 ≫ A 物質・エネルギー (3) てこの規則性 ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (イ) 身の回りには、てこの規則性を利用した道具があること。
	≪ 小学校学習指導要領 P159 外国語 英語 2内容 〔第5学年及び第6学年〕 ≫ (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 ア 聞くこと (7) 自分のことや学校生活など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞いて、 それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動。

【中学校】

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
中学校・国語	≪ 中学校学習指導要領 P30 国語 [第1学年] 2内容 ≫ A 話すこと・聞くこと (1) 話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えること。
中学校・社会 ※ 地理的分野・歴史的分野・公民的分野から一つ選択して模擬授業を行うこと。	≪ 中学校学習指導要領 P44 社会 [地理的分野] 2内容 ≫ C 日本の様々な地域 (2) 日本の地域的特色と地域区分 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解すること。 ≪ 中学校学習指導要領 P52 社会 [歴史的分野] 2内容 ≫ C 近現代の日本と世界 (2) 現代の日本と世界 ア 次のような知識を身に付けること。 (ア) 日本の民主化と冷戦下の国際社会 冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解すること。 ≪ 中学校学習指導要領 P60 社会 [公民的分野] 2内容 ≫ C 私たちと政治 (2) 民主政治と政治参加 ア 次のような知識を身に付けること。 (ア) 国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解すること。
中学校・数学	≪ 中学校学習指導要領 P71 数学 [第2学年] 2内容 ≫ C 関数 (1) 一次関数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。
中学校・理科 ※ 四つの中から一つ選択して模擬授業を行うこと。	≪ 中学校学習指導要領 P79 理科 [第1分野] 2内容 ≫ (1) 身近な物理現象 ア 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 光と音 ① 凸レンズの働き 凸レンズの働きについての実験を行い、物体の位置と像のでき方との関係を見いだして理解すること。 ≪ 中学校学習指導要領 P84 理科 [第1分野] 2内容 ≫ (6) 化学変化とイオン ア 化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (イ) 化学変化と電池 ① 化学変化と電池 電解質水溶液と2種類の金属などを用いた実験を行い、電池の基本的な仕組みを理解するとともに、化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることを知ること。 ≪ 中学校学習指導要領 P88 理科 [第2分野] 2内容 ≫ (1) いろいろな生物とその共通点 ア いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 生物の観察と分類の仕方 ① 生物の特徴と分類の仕方 いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点を基にして分類できることを理解するとともに、分類の仕方の基礎を身に付けること。 ≪ 中学校学習指導要領 P91 理科 [第2分野] 2内容 ≫ (4) 気象とその変化 ア 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ウ) 日本の気象 ① 日本の天気の特徴 天気図や気象衛星画像などから、日本の天気の特徴を気団と関連付けて理解すること。

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
中学校・音楽	<p>《 中学校学習指導要領 P100 音楽 [第1学年] 2内容 》</p> <p>B 鑑賞</p> <p>(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。</p> <p>(ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠</p> <p>(イ) 生活や社会における音楽の意味や役割</p> <p>(ウ) 音楽表現の共通性や固有性</p>
中学校・美術	<p>《 中学校学習指導要領 P110 美術 [第2学年及び第3学年] 2内容 》</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 表現の活動を通して、次のとおり発想や構想に関する資質・能力を育成する。</p> <p>ア 感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や彫刻などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。</p>
中学校・保健体育	<p>《 中学校学習指導要領 P127 保健体育 [保健分野] 2内容 》</p> <p>(1) 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。</p> <p>(ア) 感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。</p>
中学校・技術	<p>《 中学校学習指導要領 P132 技術・家庭 [技術分野] 2内容 》</p> <p>A 材料と加工の技術</p> <p>(1) 生活や社会を支える材料と加工の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解すること。</p>
中学校・家庭	<p>《 中学校学習指導要領 P137 技術・家庭 [家庭分野] 2内容 》</p> <p>A 家族・家庭生活</p> <p>(2) 幼児の生活と家族</p> <p>ア 次のような知識を身に付けること。</p> <p>(ア) 幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解すること。</p>
中学校・英語	<p>《 中学校学習指導要領 P147 外国語 英語 2内容 》</p> <p>(1) 英語の特徴やきまりに関する事項</p> <p>エ 文、文構造及び文法事項</p> <p>(ウ) e 動詞の時制及び相など</p> <p>現在形や過去形、現在進行形、過去進行形、現在完了形、現在完了進行形、助動詞などを用いた未来表現</p>

【高等学校】

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
高等学校・国語	<p>《 高等学校学習指導要領 P37 第2 言語文化 2内容 》</p> <p>B 読むこと</p> <p>(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。</p>
高等学校・地理歴史 (日本史)	<p>《 高等学校学習指導要領 P65 第4 日本史探究 2内容 》</p> <p>C 近世の日本と世界</p> <p>(1) 近世への転換と歴史的環境</p> <p>ア 次のような知識を身に付けること。</p> <p>(ア) 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解すること。</p>
高等学校・地理歴史 (世界史)	<p>《 高等学校学習指導要領 P73 第5 世界史探究 2内容 》</p> <p>D 諸地域の結合・変容</p> <p>(3) 帝国主義とナショナリズムの高揚</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p>

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
高等学校・地理歴史 (地理)	≪ 高等学校学習指導要領 P54 第2 地理探究 2内容 ≫ B 現代世界の地誌的考察 (1) 現代世界の地域区分 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域の捉え方などを多面的・多角的に考察し、表現すること。
高等学校・公民 (政治経済)	≪ 高等学校学習指導要領 P88 第3 政治・経済 2内容 ≫ B グローバル化する国際社会の諸課題 (1) 現代の国際政治・経済 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土(領海、領空を含む。)などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めること。
高等学校・公民 (倫理)	≪ 高等学校学習指導要領 P84 第2 倫理 2内容 ≫ A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 (1) 人間としての在り方生き方の自覚 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 個性、感情、認知、発達などに着目して、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めるための手掛かりとなる様々な人間の心の在り方について理解すること。
高等学校・数学	≪ 高等学校学習指導要領 P94 第2 数学Ⅱ 2内容 ≫ (3) 指数関数・対数関数 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。
高等学校・理科 (物理)	≪ 高等学校学習指導要領 P108 第3 物理 2内容 ≫ (1) 様々な運動 ア 様々な運動について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (7) 平面内の運動と剛体のつり合い ㊦ 剛体のつり合い 大きさのある物体のつり合いに関する実験などを行い、剛体のつり合う条件を見いだして理解すること。
高等学校・理科 (化学)	≪ 高等学校学習指導要領 P113 第4 化学基礎 2内容 ≫ (2) 物質の構成 ア 物質の構成粒子について、次のことを理解すること。また、物質と化学結合についての観察、実験などを通して、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (7) 物質の構成粒子 ㊦ 電子配置と周期表 元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解すること。
高等学校・理科 (生物)	≪ 高等学校学習指導要領 P118 第6 生物基礎 2内容 ≫ (2) ヒトの体の調節 ア ヒトの体の調節について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付けること。 (1) 免疫 ㊦ 免疫の働き 免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解すること。
高等学校・理科 (地学)	≪ 高等学校学習指導要領 P126 第9 地学 2内容 ≫ (1) 地球の概観 ア 地球の形状や内部構造について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (7) 地球の形状 ㊦ 地球の磁気 地磁気に関する観察、実験などを行い、地磁気の特徴とその働きを理解すること。
高等学校・音楽	≪ 高等学校学習指導要領 P142 第1 音楽Ⅰ 2内容 ≫ B 鑑賞 (1) 鑑賞 ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(7)から(9)までについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。 (7) 曲や演奏に対する評価とその根拠 (8) 自分や社会にとっての音楽の意味や価値 (9) 音楽表現の共通性や固有性

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
高等学校・美術	≪ 高等学校学習指導要領 P147 第4 美術Ⅰ 2内容 ≫ A 表現 (2) デザイン ア 目的や機能などを考えた発想や構想 (イ) デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練ること。
高等学校・書道	≪ 高等学校学習指導要領 P157 第10 書道Ⅰ 2内容 ≫ A 表現 (2) 漢字の書 イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。 (ア) 用具・用材の特徴と表現効果との関わり (イ) 書体や書風と用筆・運筆との関わり
高等学校・保健体育	≪ 高等学校学習指導要領 P137 第2 保健 2内容 ≫ (1) 現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 現代社会と健康について理解を深めること。 (イ) 現代の感染症とその予防 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があること。
高等学校・家庭	≪ 高等学校学習指導要領 P185 第2 家庭総合 2内容 ≫ B 衣食住の生活の科学と文化 (1) 食生活の科学と文化 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 食生活を取り巻く課題、食の安全と衛生、日本と世界の食文化など、食と人との関わりについて理解すること。
高等学校・農業	≪ 高等学校学習指導要領 P199 第1 農業と環境 2内容 ≫ [指導項目] (2) 暮らしと農業 オ 農業の動向と展望
高等学校・工業 (機械)	≪ 高等学校学習指導要領 P250 第10 機械工作 2内容 ≫ [指導項目] (2) 機械材料 イ 新素材の加工性と活用
高等学校・工業 (電気)	≪ 高等学校学習指導要領 P259 第18 電気回路 2内容 ≫ [指導項目] (1) 電気回路の要素 ア 電気回路の電流・電圧・抵抗
高等学校・工業 (建築)	≪ 高等学校学習指導要領 P272 第29 建築構造 2内容 ≫ [指導項目] (1) 建築構造の概要
高等学校・英語	≪ 高等学校学習指導要領 P169 外国語 第2 英語コミュニケーションⅡ 2内容 ≫ (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。
高等学校・情報	≪ 高等学校学習指導要領 P190 第1 情報Ⅰ 2内容 ≫ (1) 情報社会の問題解決 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察すること。

【養護教諭、栄養教諭、支援学校・理療】

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
養護教諭	≪ 中学校学習指導要領 P128 保健体育 [保健分野] 2内容 ≫ (3) 傷害の防止について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 傷害の防止について理解を深めるとともに、応急手当をすること。 (イ) 交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できること。
栄養教諭	≪ 小学校学習指導要領 P137 家庭 [第5学年及び第6学年] 1内容 ≫ B 衣食住の生活 (3) 栄養を考えた食事 ア 次のような知識を身に付けること。 (イ) 食品の栄養的な特徴が分かり、料理や食品を組み合わせるとる必要があることを理解すること。
支援学校・理療	≪ 特別支援学校 高等部学習指導要領 P85 第4款 理療 [医療と社会] 2内容 ≫ (6) あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師の倫理 イ 理療業務と倫理

◎ 表中に示されている各学習指導要領とそのページ番号は、以下の文部科学省著作刊行物とそのページ番号を表しています。WEB ページ上のもものではありませんので注意してください。

・特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 →

刊行物名：特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領（平成 29 年 4 月告示）、

発行者：海文堂出版株式会社

・特別支援学校 高等部学習指導要領 →

刊行物名：特別支援学校 高等部学習指導要領（平成 31 年 2 月告示）、

発行者：海文堂出版株式会社

・小学校学習指導要領 → 刊行物名：小学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）、発行者：株式会社東洋館出版社

・中学校学習指導要領 → 刊行物名：中学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）、発行者：株式会社東山書房

・高等学校学習指導要領 → 刊行物名：高等学校学習指導要領（平成 30 年 3 月告示）、発行者：株式会社東山書房

◎ 模擬授業の内容に関する質問については、お答えできません。